

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【公開番号】特開2004-178585(P2004-178585A)

【公開日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-024

【出願番号】特願2003-387778(P2003-387778)

【国際特許分類】

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

G 0 6 F 12/06 (2006.01)

G 0 6 F 12/16 (2006.01)

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/00 3 1 2 K

G 0 6 F 12/06 5 2 4

G 0 6 F 12/16 3 1 0 J

H 0 5 K 5/02 V

G 0 6 F 1/00 3 1 2 G

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月1日(2006.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

携帯用モジュール式電子システム用の器具モジュールであって、

筐体と、

前記筐体内の器具電子回路と、

前記筐体の少なくとも2つの相異なる側面のそれぞれにあって、前記器具モジュールが機械的に接続されている他のモジュールへの電氣的接続を行うためのそれぞれの電気コネクタと、

前記器具電子回路に接続されたバスとを備え、

前記電気コネクタは前記器具電子回路にも接続されており、前記器具モジュールと該器具モジュールに結合された他のモジュールのコネクタとの間で、位置合わせを維持しつつ複数の回転方向をとることを可能とし、かつ

前記バスは前記電気コネクタにも接続されており、該バスに沿って前記器具モジュールに接続された前記他のモジュール間における電気通信を可能にすることを特徴とする、器具モジュール。

【請求項2】

前記器具モジュールを前記他のモジュールに機械的に接続するための連結具を更に備えることを特徴とする、請求項1に記載の器具モジュール。

【請求項3】

前記コネクタは、前記モジュールが積層体として組立てられるようにし、かつ、前記モジュールが前記積層体のなかで互いに異なる複数の相対位置を取りえるようにする、ことを特徴とする、請求項1に記載の器具モジュール。

【手続補正2】

- 【補正対象書類名】明細書
- 【補正対象項目名】発明の名称
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【発明の名称】器具モジュール